

## 式 辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。長崎総合科学大学を代表して、入学を心より歓迎します。また、皆さんを長年にわたり温かく支えてこられたご家族や関係者の皆さま方に対し、心よりお祝いを申し上げます。

皆さんは大きな希望や期待と少しの不安を胸に抱いて、入学して来られたことと思います。これから始まる学生生活は、教養を高め、専門分野の知識を習得すると共に新しい人間関係を構築するなかで、人間性を磨く貴重な機会です。緊張や不安も含めて、今の気持ちを大切にしながら、学究生活への歩みを進めていって欲しいと思います。

今年、長崎総合科学大学は、創立八十三年を迎えます。川南造船所が一九四二年に職業学校として設立した財団法人川南高等造船学校が本学の起源です。短期大学、四年制大学と時代のニーズに合わせて変革しながら、これまで多くの卒業生を送り出してきました。

本学はコース制を設けています。工学部に「船舶工学」「機械工学」「建築学」「電気電子工学」「医療工学」の五コース、総合情報学部「知能情報」「マネジメント工学」「生命環境工学」の三コースと計八つのコースがあります。一年次から学部内の全コースの大まかな内容を学ぶことで、一つの専門だけでなく、関連分野まで幅広い知識を身につけた人材になってほしいという思いがあります。また、新教育プログラムにより学部やコースを横断して十一のプログラムの中から自分の興味のあることを学べる環境づくりにも力を入れています。すでに研究したいことや分野が決まっている方も、まだ検討中の方も、豊富な選択肢の中から自分なりの教育計画を作成していくことが可能です。

さて、現代社会は、先行きが不透明で変化の激しい時代だと言われますが、そうした状況を表す言葉の一つに『VUCA(ブーカ)』があります。VUCA(ブーカ)とは、変動性 Volatility、不確実性 Uncertainty、複雑性 Complexity、曖昧性 Ambiguity という意味の英単語の頭文字を並べた造語です。不確実な混沌とした時代を生きるためには、ただ知識の習得だけではなく、変化に適応し、新しい価値を生み出す力が求められます。ここで皆さんに身につけていただきたい五つの能力を紹介します。

一つ目は「自ら考え、問題を解決する力」で、講義を受ける・課題をする際に、受け身で知識を吸収するだけでなく、自分なりに考え、疑問を持ち、積極的に意見を発信する習慣を身につけましょう。

二つ目は「変化に適應する柔軟性と創造力」です。不確かな時代では、一つの方法がいつまでも通用するとは限りません。常に新しい知識や技術を学び、柔軟に適應する力が求められます。

三つ目は「コミュニケーション能力とチームワーク」です。一人で全ての問題を解決することは困難です。多様な価値観をもつ仲間と協力しながら、より良い解決策を見出すことが必要です。

四つ目は「デジタルリテラシーとテクノロジー活用力」です。デジタルリテラシーは必須のスキルです。AI、データ分析、プログラミング、情報セキュリティなどの基礎知識を持つことで、変化する社会に適應しやすくなります。

最後に五つ目は「挑戦する姿勢とレジリエンス（逆境を乗り越える力）」です。計画通りにならないことや予期せぬ困難に直面し挫折することもありますが、そこであきらめるのではなく、「どうすれば次に活かせるか？」と考え、前向きに行動できる力です。レジリエンスは「生まれ持った才能」ではなく、経験や努力によって鍛えられる力です。

世界の研究教育を引っ張っておられる教授陣と共に学ぶ先輩たち、さらには共に研究し学んでおられる企業の方々を多く抱えた大学は、これらのスキルを身につける絶好の場です。本学で、積極的に学び、挑戦し、成長することで、不確実な未来を切り拓く力を養ってください。先行きが不透明で変化の激しい時代というVUCAを悲観的に捉えるのではなく、さまざまな新しい技術を取り入れて前向きに新しいことにチャレンジしていく。そんな感覚こそが、この時代を生きるのに必要なマインドだと思えます。

本学は、皆さんの個性を活かせることに重点をおき、個人に合った教育プログラムを自由に選び、一方で企業や地域社会とも連携しながら、各自が個性を伸ばせる「ひとつ先の風景」を見られる教育を行います。これから始まる長崎総合科学大学での学びの中で、日々の努力を怠らず、人間性を磨き、実り多き、充実した学生生活を送ってください。

最後に、皆さんの前途を祝福し、式辞といたします。

令和七年四月二日

長崎総合科学大学

学長 黒川 不二雄